

# キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成28年 9月 9日

2級受検番号 N0-03S1110046

氏名 Y. I

(東京 在住)

## 1 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか ・4月20日頃

### どのような内容を、どの程度行ったか

- ・「キャリアの青本Ⅱ」を購入し、一度目を通しましたが、人名と理論を記憶するのが非常に大変でした。キーワードを中心に覚えました。
- ・学科は3回分の過去問をそれぞれ3回解いた結果、小さな自信を持つ事が出来ました。
- ・論述は、会社から提供された資料を2日間視聴し、自分なりの纏め方を考えました。
- ・面接は、会社主催の勉強会に2度参加し、そこで学んだ内容が本番での力になったと思っています。

### 準備に対する振り返り

- ・自分にとっては、4月～7月までの4か月の期間が緊張感を持続する限界でした。
- ・この期間は業務と並行して大変でしたが、結果は別として、一気呵成で受験するのが良いと感じました。

### これから受検する人へのアドバイス

- ・学科は人名と理論を覚える事が大事です。又、過去問と「赤本」で自信をつけて下さい。
- ・論述は、合格方法に関する情報を基に、自分なりの纏め方を見つけて下さい。
- ・面接は、方法論のしっかりしたところが実施する勉強会に出席し、ポイントを確認して下さい。我流では難しいと感じました。

## 2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

面接日 7月2日

### 試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

早いタイミングで面接を受けたかったから（一気呵成）

試験官の性別：男性1人、女性1人	事例番号：1	2	3	4
------------------	--------	---	---	---

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	アイスブレイクと守秘義務をお伝えし、笑顔を意識しました。
② 基本的態度	傾聴を最優先にし、相槌を忘れないように心掛けました。 前半は、余分な言葉を話さず、聴く事に注力しました。
③ 関係構築	笑顔を意識し、時にはジェスチャーも入れながら対応し、ラポール形成に努めました。
④ 問題把握	後半では、ご相談者の話を纏め、その過程で気に掛かる点の確認をしながら問題点の共有を図りました。複雑に絡んでいる事をほぐそうとしましたが、出来ませんでした。
⑤ 具体的展開	解決策を複数提案し、検討してもらう事をお話した時点で時間切れとなりました。
⑥ 口頭試問の内容と回答	気持ちの高ぶりが有り、早口で応答したように記憶しています。 自分のロープレについてジックリと説明し、今後の課題として認識できた事も発言すべきだと思いました。
<p><b>これから受検する人へのアドバイス</b></p> <p>私は、「一気呵成」の勢いで進んだ事がこの結果になったと思います。 会社が提供してくれた「合格に向けたサポート」を確実に実行する事がポイントです。</p>	

1 級キャリアコンサルティング技能士の会分析チームからの「ひとこと」

■合格のポイント

- ・学科試験は、苦手だった「理論」部分について、キーワードを理解したうえで、過去問や赤本の実問題にあたることで、「自信」を付けたことで不安要素がなくなりました。
- ・論述は、解答への道筋などの合格答案の書き方をマスターし、その理解を本試験でも発揮できたことで、合格ラインを超えました。
- ・勉強会での「方法論」を正確に把握し、それが本試験でも実行できました。  
合格率が大変低いですから、「我流」よりも適切な指導を受けて、それを実行することが秘訣です。